

2019年度助成事業に関する活動報告 20200415

公益財団法人 日本ライフセービング協会

子供たちへの水辺の安全教育プログラムの推進（ICT教育）



3. 子供たちへの水辺の安全教育プログラムの推進

開発の背景 1

新しい学習指導要領全面実施 小学校2020年度～、中学校2021年度～
小学校学習指導要領・体育「水泳領域」で、高学年に「安全確保につながる運動」が新設

日本は海岸線の長さが世界で6番目に長い、海に囲まれた国です。そのため、泳げなければ命を落としてしまうような危機に直面する可能性があります。このように“サバイバル”という視点で考えたとき、水泳の技能はすべての子どもたちが習得すべき能力の一つであるといえると思います。それを保障するのは、公教育の役割ではないでしょうか。

スポーツ庁長官 鈴木大地 (体育科教育2017 7月号より一部抜粋)

これまでは高学年の指導内容が泳法（泳力向上）に絞られるという課題がありました。そこで、「安全確保につながる運動」を加えることによって、続けて長く浮いていることも身に付けるべき能力の一つだと捉えることができるようにしました。導入の背景には、国内外での水難事故もあります。水難事故に遭った際には、呼吸を確保し浮いていることが命をつなぐために大変重要であるということを、小学校のうちから知っておく必要があります。

スポーツ庁政策課 教科調査官 高田彬成 (体育科教育2017 7月号より一部抜粋)

水辺の危険に遭遇した後の対処を教えるにとどまらず、事故につながらない知恵と、自然環境を想定した正しい行動を伝えていく。

～事故を未然に防ぐ、本当の未然は「教育」にある～



JLAライフセービング教育本部

3. 子供たちへの水辺の安全教育プログラムの推進

開発の背景 2

ICTを活用した教育の効果

※文部科学省学びのイノベーション事業 実証研究報告書より、H25

2019. 6. 26 日本経済新聞

児童生徒が1人1台、パソコンやタブレットを利用できる環境整備	2025年度
学術ネットワーク「SINET」を学校に開放し、本格運用	22年度
「教育ビッグデータ」整備に向け、テスト結果などの情報収集方法を決定	20年度
先端技術を使った教育のあり方についてガイドライン策定	20年度

「1人1台」25年度までに

文科省が工程表 個性に沿った指導へ

小中高校などの情報通信技術（ICT）の活用について、文部科学省は25日、2025年度までの工程表を示した。児童生徒1人につき1台、教育用パソコンやタブレット型端末が利用できる環境を整え、教育関連のビッグデータも利用して情報化社会で求められる人材を育てる。学校でのICT活用の進め方が指図されており、解消を急ぐ。

工程表では教育用パソコンの整備品を供給してもらうよう民間に協力を要請し、私物のスマートフォンも学校で使う。これらによって25年度までに1人1台を目指す。全国の大学を結ぶ超高速の学術ネットワーク「SINET」を学校に開放し、25年度に本格運用する。定期テストやドリルの解答状況、デジタル教科書の参照履歴、出欠や健康状態といった子供の情報を蓄積し、学習支援に活用する。さらに学習塾などでAIを活用した教材が導入されている。タブレットで問題を出し、解答状況を解析し、理解が足りない項目を追加で教えるといった「オーダーメイド教育」が広がる。京都大の種方広明教授（教育情報学）は「教育ビッグデータの活用により、「学力が上がるクラスの人」指導方法などに学力の伸びの差などを分析できる可能性

学校のICT活用加速

報告された「教育ビッグデータ」も整備する。人工知能（AI）で分析し、子供の興味関心や得意不得意に応じてドリルの問題を出力したり、より深く学べる教材を提供したりする。20年度にデータの収集方法などの結論を出す。

在の成績から、将来の学力を予測できるようにする可能性があるという。文科省はデジタル教科書や仮想現実（VR）、拡張現実（AR）なども創造性を伸ばすために活用する。デジタルコンテンツや映像で理解を助け、興味ある分野をより深く学ばせる。最先端の知見や多様な人材に触れるための先行している。

欧米は教育ビッグデータなど先行している。同省によくと英国は公共機関が収集すべきデータを予測できるような力を発揮する。特別な指導が必要なら自動でリストアップするなどして活用。米国でも多くの学校がデータを授業設計や指導に使う。一方、国ではICT活用の前提となる環境整備が不十分だ。公立の小中学校などは、18年3月時点で教育用のパソコン1台当たりの児童生徒数は平均5.6人という低さ。普通教員の無線LAN接続は平均34.5%にとどまる。改善の側面や手法も改善が必要になりそうだが、経済協力開発機構（OECD）の46カ国・地域を対象にした調査によると、生徒にICTを活用する活動を頻繁にさせている中学教員の割合は17.9%で、下から2番目という低さ。

文科省は「ICTが必要であることを自治体に丁寧に説明し、具体的な方法を提示する」と説明するが、課題は多い。

生徒にICTを活用する活動を頻繁にさせている中学教員の割合は17.9%で、48か国中、下から2番目という低さ。

※経済協力開発機構（OECD）の48か国・地域調査

情報活用能力が身に付く



学習指導の効果の向上



教える側の意欲、自信



ICT教材の充実



基本インフラ整備

【教員の意識】

- ・「意識を高めること」
 - ・「理解を高めること」
 - ・「思考を深めたり広げたりすること」
 - ・「表現や技能を高めること」
- 上記効果あり、と約8割以上の教員が評価

【児童生徒の意識】 第3～6学年

- ※「たいへん」及び「少し」の回答率90%以上だけを抜粋
- ・「楽しく学習することができたと思いますか」 94.4%
 - ・「進んで授業に参加することができたと思いますか」 91.1%
 - ・「授業に集中して取り組むことができたと思いますか」 90.8%
 - ・「学習した内容をおぼえることができたと思いますか」 90.2%



JLAライフセービング教育本部

多くの先生方がウォーターセーフティの知識を児童、生徒に伝えていけるICT教材を開発。水泳の授業が実施できない時（場合）でも、水の安全に関する学びを深めることができる。

3. 子供たちへの水辺の安全教育プログラムの推進

～守ろう！いのち、学び合おう！水辺の安全～ Swim&Survive

ICT教育推進/アクティブラーニング

ドメイン候補 <https://elearning.jla-lifesaving.or.jp/>



「主体的・対話
的な深い学び」
を目指すアク
ティブ・ラーニ
ングの展開

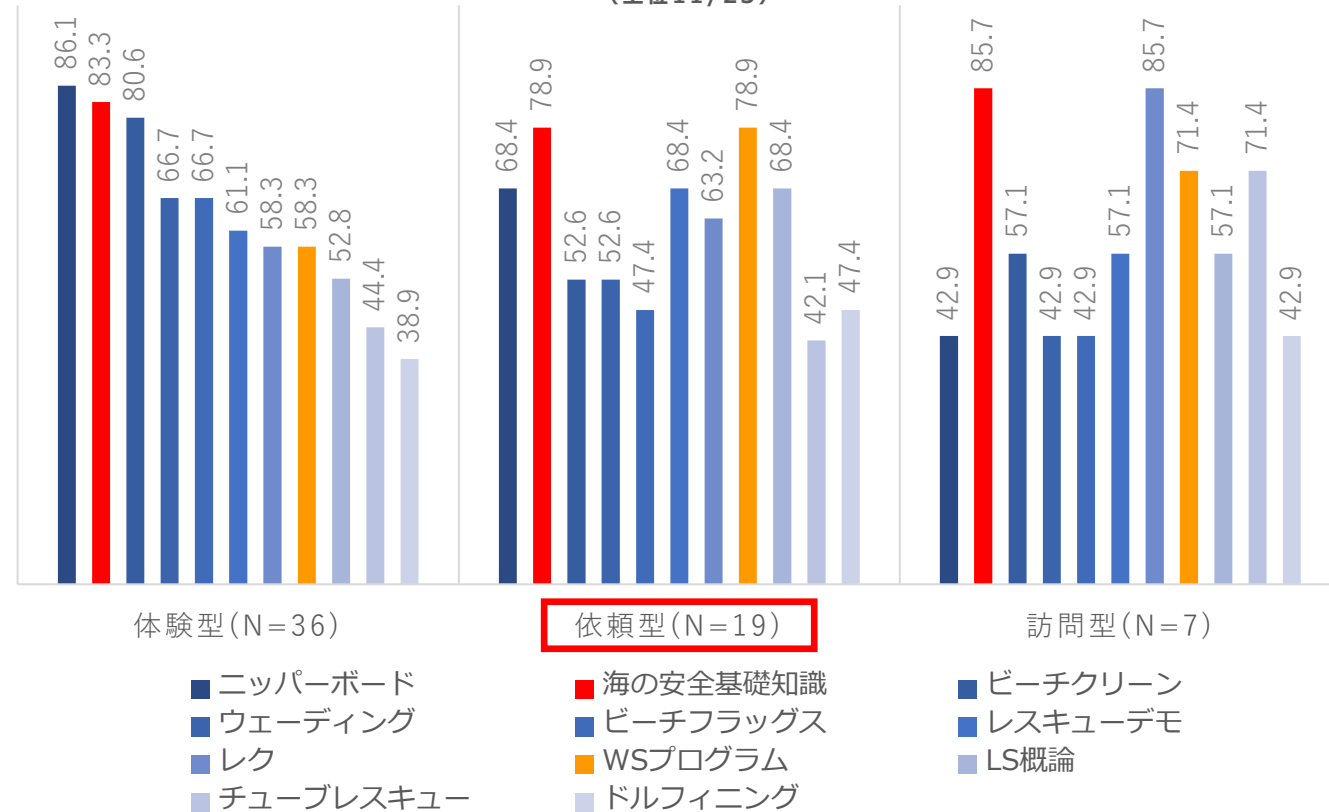
事前・事後学習



プールや海での活動をより実践的に。
水辺のスポーツやアクティビティーにおける
ファンデーションプログラム（安全）としての活用。

ジュニア・ライフセービングプログラムにおける実施内容

(上位11/23)



日本財団助成：ジュニア・ライフセービング教育の実態調査報告書より作図（2018）

JLAの制作するICT教育は、依頼型のオーダーとして一番ニーズのあった
「海の安全基礎知識」と「WSプログラム」を軸とする

※重要；体験的な活動とICTの活用を融合させることにより、効果的な学びにつなげる



守ろう！いのち 学び合おう！水辺の安全

Swim & Survive



Title



水の特性を知り、さらに水辺（海、河川、湖沼、プール、池、水路ほか）にはどのような危険があるのかを理解することが大切です。泳ぎの基本を学ぶことと同時に、その危険に自ら対処する方法「Swim & Survive」（スイム&サバイブ）を体得していれば、いろいろな活動体験を安心して学び、たくさんの感動を得ることができます。事故防止の基本的な考え方として、特に自然環境下の活動では、時間的・空間的に変化する危険な場所を理解し、その対応を考えることができる能力が求められます。

日本ライフセービング協会は、水辺における様々な活動において危険な状況にならないように「楽しみながら安全を考えて行動できる能力」を身につけるための教育が重要と考え、このコンテンツの名称を『守ろう！いのち 学び合おう！水辺の安全』～Swim&Surviveとしました。



Concept

日本ライフセービング協会は、子どもたちが水辺の事故防止の心構えや、安全のための知識と技能を身に付け、楽しく活動できることを願い、この教材を制作しました。

小学校・中学校の新学習指導要領に沿い「水泳運動の心得」や「安全確保につながる運動」、「水辺の事故防止に関する心得」などへの実践的理解を深めるような構成となっています。主に学校教育において、電子黒板やPC・タブレット端末等を使用し、主体的・対話的な学びを促すことをねらいとしています。プール活動や体験活動の事前指導、総合的な学習の時間など、水辺の安全教育に幅広くご活用してほしいと思います。

～水辺の事故ゼロをめざして～



Character

みんなと一緒に学んでいくよ！



【そらちゃん】

およ とくい おんな こ なつ うみ そら だいす
泳ぐことが得意な 女 の子だよ。夏の海と空が大好き！

「わたしは泳ぐのが大好き。でも、水辺のこわさも知っているから、水辺に行くときは必ずライフジャケットやうき具をもっていくよ。」

【パトちゃん】

ライフセーバーのぼうしから生まれた、水辺のパトロールをしてくれる守り神。

うれしいときや楽しいときは、高くジャンプをして気持ちを持ちを伝えるよ。



【うみくん】

うみ かわ だいす おとこ こ
海や川が大好きな、がんばりやさんの男の子だよ。

でも、クラゲとフナムシは苦手なんだ。

「ぼくは毎日、海のごみひろいをしているよ。きれいな海を守るんだ！」





Introduction



1. プールに入る前に・・・

「プールに入る前に・・・」「水に入ったら・・・」「プールの用具、道具」の3つから構成されています。イラストを見ながらクリックすると、注意すべきポイントが細かく解説されています。

3. 助かる&助けるテクニック ＜実践動画集＞

「助かる方法」「助ける方法」の2つから構成されています。もしも自分が不意に水の中に落ちてしまったら、溺れそうになってしまったら、実際どのように対処すべきなのか、動画で詳しく見るすることができます。水の中での人間の動きや、身につけると良いテクニックも動画で確認できます。また水に入らないで助ける方法を中心に、助ける方法についても紹介しています。

2. 海での出来事

＜動画で考えよう！＞

ある夏の日の海での出来事をドラマで見られます。次に、水辺の事故防止に大切なポイントの解説が入った同じドラマを見ることができます。さらに動画を見たあと、振り返り学習ができるよう、学習のポイントごとに、詳しく解説を見ることができます。

4. 水辺の安全って？ <クイズ>

「初級編」「中級編」でそれぞれ10問のクイズが用意されており、正解しないと次に進めません。クイズに答えながら、水辺で安全に楽しく過ごすための知識を習得することができます。正解の回答には、解説がついており、「なぜそうすべきか？」など、深く考えることができます。

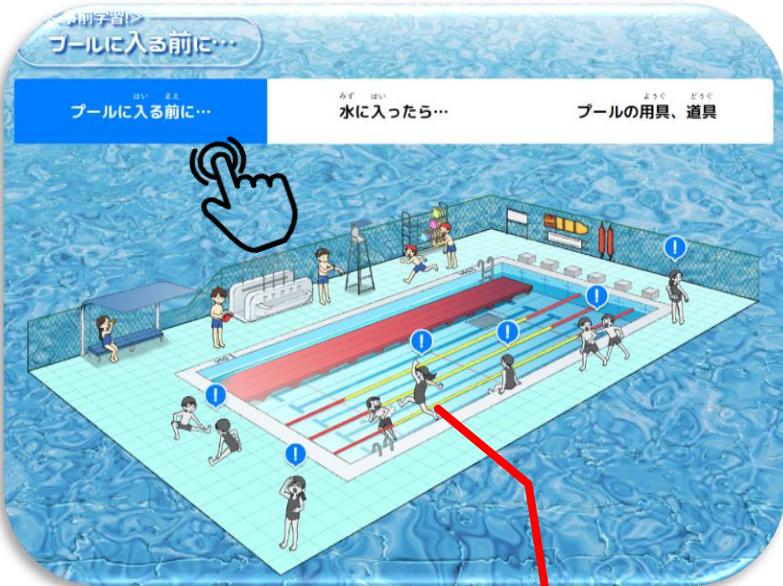
「事前学習」

1, プールに入る前に...



プール活動の事前指導として活用。
事故を未然に防ぐことへの思考を育てる。
★新学習指導要領
小「水泳運動の心得」
中「健康、安全の心得」


プールに入る前に...



水に入ったら...



プールの用具、道具

プールサイドからのプールへのジャンプは、人が下にいたときに重大な事故につながるため、絶対してはいけません。

全10項目



水中での活動を行うときは「バディ」が大切です。おたがいを守り合うのがバディの役目です。



全8項目



水中から出られなくなるおそれがあるので、遊具やフロア台の下にもぐってはいけません。



全9項目

「動画で考えよう」 ～あらすじ～

2, 「海でのできごと」



まずは6分19秒の動画を通して見てみよう！



ある日、小学生達が放課後に桟橋で釣りを楽しんでいました。桟橋の奥には大学生2人がいます。今日はなかなか釣れません。そこへ女の子が遅れて様子を見にやってきました。



まずは全体を通して見てみよう！

ある夏の日の、海でのできごと。
どんな危険があるか、考えながら見てみよう。



はやと君は桟橋から魚の影を追って網で捕まえようとします。夢中になって追いかけるあまり海へ落ちてしまいます。

桟橋では、はやと君を助けようと、学校で習った“ペットボトル救助”等を試みますが、うまくいきません。

桟橋にいた大学生の正しい“ペットボトル救助”にはやと君は助けられませんが、今度はもう一人のライフジャケットを着た大学生が…

女の子は走ってライフセーバーに伝えに行きます。2人のライフセーバーは、はやと君と大学生の救助に向かいます。

「動画で考えよう」 ～設問と解説～

2, 「海でのできごと」

次に2つ目の動画を見てみよう。
同じ動画の中に11の設問があるよ。
考えたり、意見を出し合ったりした
後は、解説を見て学びを深めよう！



まずは全体を通して見てみよう！
ある夏の日の、海でのできごと。
どんな危険があるか、考えながら見てみよう。



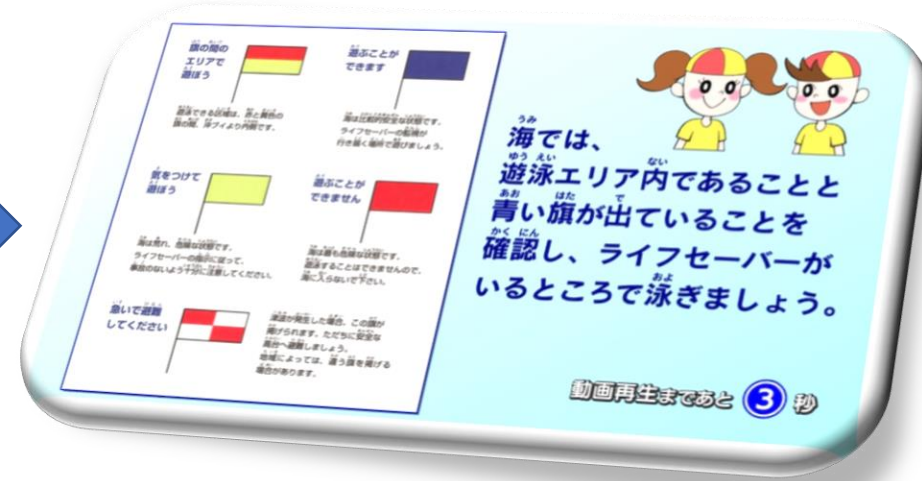
次に動画を見ながら考えよう！
動画の中の大切なシーンをチェック。
見たあとは、下の「学習のポイント」も確認しよう。



解説まで 3 秒前



解説まで 4 秒前



動画再生まであと 3 秒



※動画を流していると自動で設問がでできます。
適時、停止、再生ボタンを押しながらご利用下さい。

2, 「海でのできごと」

動画の中にあつた11の設問と解説は「学習のポイント」で、一つ一つ振り返りの学習ができるよ！



学習のポイント

動画をみたあとで、ポイントを確認しよう。

 海の状況 とてもおだやかな海だね。いつも同じかな？	 遊泳エリア 海には安全に遊泳するための旗があるって知っている？	 さん橋で危険な場所は？ さん橋で、とくに危険な場所は、どこかな？	 うき具として使える物は？ この画面の中のもので、うき具として使える物はどれかな？
 どう思っていたのかな この時、さん橋にいる2人の気持ちは？	 リーチとは つかまることができるものを差し出すときに、安全な姿勢は？	 スローとは ペットボトルは、どうして速くまで飛ばなかったんだろう？	 うきものを受け取ったら ペットボトルを受け取ったら、どんな体勢になればいいかな？
 ライフジャケット ライフジャケットを着ているのに、どうしておぼれそうになっているの？	 ライフセーバー ライフセーバーって、どうしているの？	 おぼれる原因 海でおぼれるおもな原因ってなんだろう？	

ライフジャケットを身に付けるときの注意点を見てみましょう。自分の身体にあったサイズのものを選び、チャックやバックルをしっかりと装着します。

ライフジャケットの正しい着方

ライフジャケットの有無による落水のちがいは？

水中でのライフジャケットの着方

海で遊ぶ時には必ずうき物を持っていくか、あらかじめ身の回りにはうき物を確認しておく、いざという時に役立ちます。

水に入らないうき物の救助方法



「話し合ってみよう」

話し合ってみよう

動画から学んだことを参考にして、話し合いで学習を深めよう。

海水浴に行くとき、安全に楽しく過ごすためには、どのような事前準備が必要でしょうか。

海で遊ぶとき、どのようなことに注意しながら活動することがのぞましいでしょうか。

海や川などで起きる水の事故を減らすための標語を、考えてみましょう。



制作協力：学研ブ
編集協力：東映ス

「海でのできごと」を見て学んだことを参考にして、話し合いを試みよう。

海で遊ぶ上での“そなえ”となる実践的な知識を身に付けるためには、想像することや他の人の経験談を聴くことも大切だよ！



3, 助かる & 助けるテクニック



助かる方法			助ける方法		

水辺での安全テクニックや溺れないための方法を動画を通じて理解を深める。

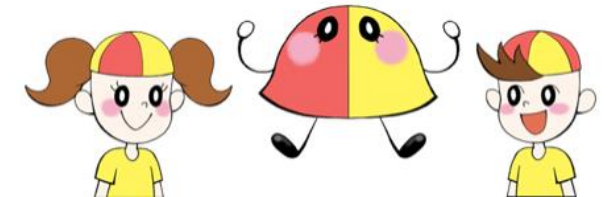
★新学習指導要領

小/中「安全確保につながる運動」
中「水辺の事故防止に関する心得」

「助かるテクニック」では、15点の動画が解説付きで見れるよ！

「Swim&Survive」の具体的な方法をまずは頭でイメージすることが大切なんだ。

水の中の様子もわかるから、是非実技で挑戦してみてね！



3,助かる&助けるテクニック

水辺での安全テクニックや溺れないための方法を動画を通じて理解を深める。

★新学習指導要領
小/中「安全確保につながる運動」
中「水辺の事故防止に関する心得」

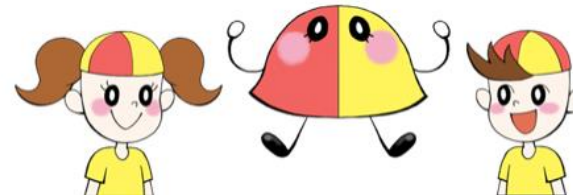


助かる方法		助ける方法	
水に入らないで救助する方法 声をかける (トーク)	水に入らないで救助する方法 物を投げ入れる (スロー)	水に入らないで救助する方法 物を差し出す (リーチ)	水に入らないで救助する方法 物を投げ入れる (スロー)
水に入らないで救助する方法 ロープを投げ入れる	安全な水からの上げ方① 補助を必要とする場合 (スターアップ・リフト)	安全な水からの上げ方②	安全な水からの上げ方③ 補助を必要とする場合 (アンダーアーム・リフト)



「助けるテクニック」では、6点の動画が解説付きで見れるよ！

万が一、溺れている人を発見した時、水の中に入らないで助けることが鉄則。ライフセーバーの救助技術の中から、みんなにも知っておいてもらいたいことを選んで紹介しているんだ。



「クイズ」

4, 水辺の安全って？

Swim & Survive

- ＜事前学習＞ プールに入る前に…
- ＜動画で考えよう＞ 海でのできごと
- ＜実せん動画集＞ 助かる＆助けるテクニック
- ＜クイズ＞ 水辺の安全って？

水辺の安全って？

初級編 全10問

中級編 全10問

2問目

おぼれている人を見つけたとき、してはいけないことはなんですか？

- 1 大人を呼ぶ
- 2 すぐに飛びこんで助けに行く
- 3 おぼれている人に声をかけて、落ち着かせる
- 4 うくものを探してつかまらせる

10問正解すると・・・

全問正解おめでとう!

水辺の安全について、くわしくなれたね!

不正解...

もう一度チャレンジしよう!

正解

答えは②番の「すぐに飛びこんで助けに行く」です。

解説

飛びこんで助けに行くと、今度は自分がおぼれるという二次事故の危険があるため、してはいけません。ライフセーバーに伝えたり、水に入らないで助ける方法を選んだりしましょう。

＜水に入らないで助ける方法＞

だれかに助けを求める・おぼれている人に声をかける「トーク」、つかまれるものを差し出す「リーチ」、うくものを投げる「スロー」といった方法があります。

トーク リーチ スロー

つぎへ



プールや海における安全に関する知識や、事故防止策を軸としたクイズだよ。今までの学びを確認しながら、新しい知識も得られるから、是非挑戦してみてね！



【動画集】
このコンテンツにある動画のすべてに加え、「安全なプール活動」が追加されています。動画集を利用することで、復習がスムーズに行えます。

【ワークシート】
主に「事前学習 プールに入る前に…」や「動画で考えよう！ 海でのできごと」で活用できるワークシートがPDFで引き出せるようになっています。子ども達が理解しながら書いていくことで、学びを深め、記録（記憶）として残すことができます。

指導案

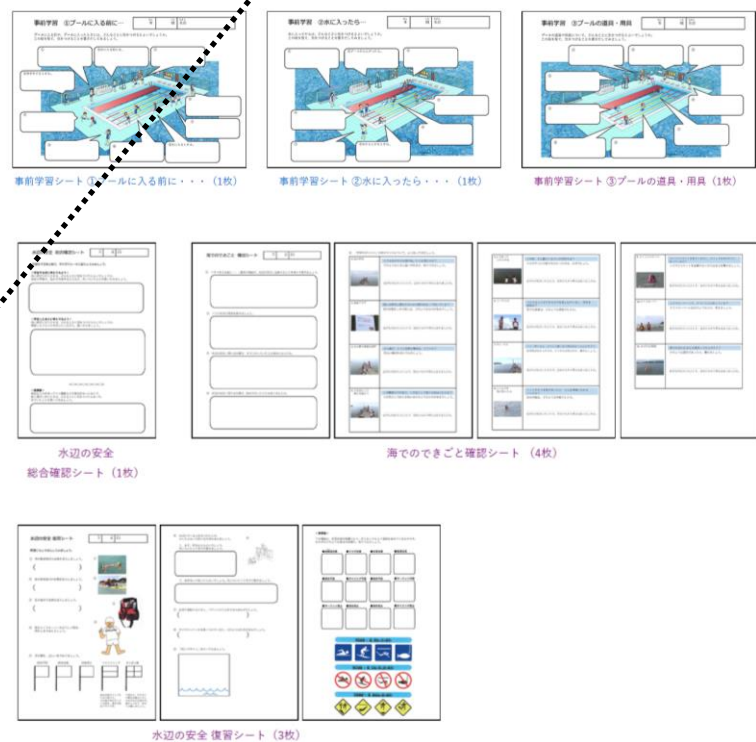
ウォーターセーフティプログラム



【指導案】
指導される方がプログラムを構築する上で参考となるウォーターセーフティの指導案がPDFで引き出せるようになっています。主に小学校や中学校の水泳授業などで活用できます。

- ①ビート板クルージング
- ②ライフジャケット
- ③浮き方とライフセービングバックストローク
- ④着衣泳体験と着衣浮き
- ⑤ペットボトル浮きと水に入らない救助法 (スロー)

ワークシート



資料集



【その他資料】
ライフセービングに関連する資料、資格のことについてやテキスト、動画などがラインナップしてあります。子ども達の興味関心をさらに深めることができます。

※水辺の尊さとその安全についての願いをメッセージとしてお寄せいただきました。指導される大人の方々の心構えやモチベーションとして、大変学び深いものです。今後もさらにその輪を広げていきます。



親から子へ、子から孫へ、何世代も引き継がれてきた私たち日本人の海への想いが、近年、海離れという形で崩壊しかけています。海に行きたくないという気持ちも、海に抱く消極的なイメージも、子どもの頃の原体験が強く影響していると考えられます。海辺で怖い思いをした子どもたちが、海を好きになれるはずがありません。子どもの水難事故が毎年多発する中、子どもたちが安心して海を楽しむために、水辺の安全教育を浸透させることは、日本人の豊かな海への関わりを導くことでしょう。子どもの未来、海の未来を守るため、今後も日本ライフセービング協会の活動を応援して参ります。

公益財団法人 日本財団
常務理事 海野 光行



日本水泳連盟は、水泳の普及目標を「国民皆泳」と位置づけています。日本の国民全員が泳げるようになり、健康保持・増進を図るとともに、泳げないことで命を落としたり、溺れている人を助けられないことがないようにという、とても大きな目標です。泳げることは自分の命を守ること、そして他人の命を救うことに繋がっています。多くの子供たちが水辺の安全教育に触れ、正しい知識と技能を身に付けることは素晴らしいことです。日本から水難事故がなくなることを願っています。

公益財団法人日本水泳連盟
会長 青木 剛



私の息子の慎之介は、幼稚園のお泊り保育で行われた水遊び中に、川の増水によって流され亡くなりました。私たちは、事故の教訓をいかすための活動を続けています。悲しい事故を防ぎ、子どもたちに豊かな経験をさせてあげるためには、予防についての正しい情報や知識を共有することが重要です。予防と安全を理解することは、命を守ること=生きる力を身につけるための大切な学びであり、子どもの可能性を広げることでもあるのです。水辺には、楽しい体験や学びが沢山あります。大人も子どもと一緒に、水辺の活動を通じて、成長へのチャレンジを重ねてほしいと思います。

水辺の事故ゼロをめざして。

日本ライフセービング協会の活動を応援します。

一般社団法人吉川慎之介記念基金
代表理事 吉川 優子



我が国の水泳教育は、泳げる技能に力点が置かれてきました。海外の水泳教育は、先ずは溺れない技能に焦点をあて、事故防止の為にセルフサバイバル教育に力を注いでいます。今日、文科省「学習指導要領」では、自然との関わりを深める「水辺活動」への広がりや、着衣泳等の自助安全を導入しています。一方、東日本大震災（大津波）や、近年の自然災害のエネルギーを鑑みれば、これまでの安全基準をはるかに超える備えは自明です。救急教育学を専門とする立場より、その生命倫理の根底は「生き抜く力」です。つまり危機本能の主体性です。本教材はその主体性を育むに相応しい理念と実践です。自助、共助、そして公助への展開・発展を願っています。

中央大学博士（救急救命学）
教授 小峯 力



「ライフジャケット」が、水辺の子どもたちを見守る時のアタリマエの選択肢の1つになることを願って、ひたすら発信を続けています。活動を続けてきて感じているのは、怖いのは「知らない」ということ。安全性を飛躍的に高める「ライフジャケット」のことや、水辺の安全について、みんなが学ぶことができれば、水辺の事故のほとんどは予防することができる…と信じています。守ることができる命があります。この素晴らしい教材が多くの学校や家庭で活用され、子どもたちにとって水辺が安全で楽しい場所になることを心から願っています。

思いはただ1つ…子どもたちの命を守ること。

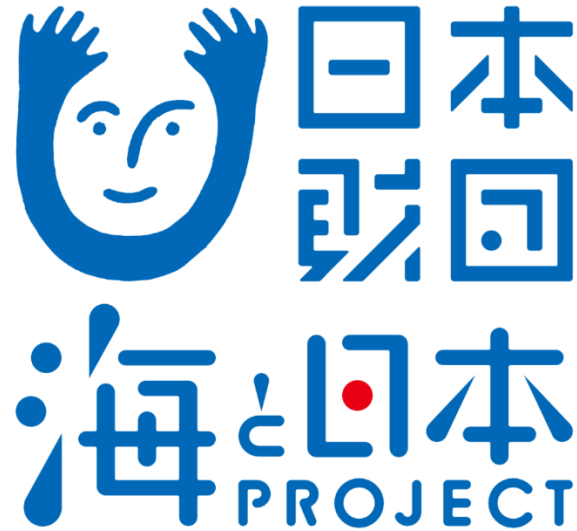
「子どもたちにライフジャケットを！」
代表 ライフジャケットサンタ 森重 裕二



海やプールは、子供たちにとって最高の遊び場です。誰もが笑顔になれるこの水辺は、我々の生活の中でも身近にあるものです。しかしながらこの水辺では、残念ながら命を落としてしまうほどの事故につながることがあります。こういった事故を未然に防ぐために必要なことは、水辺の危険について知っておくことが重要であり、この知識を持った上で水辺でのさまざまな体験を踏まえて生きる力を身につけることが最も効果的になります。我々日本ライフセービング協会は、理念を共にする様々な団体様と共に、水辺の安全に関する教育を正しく広めると共に、水辺の事故ゼロをめざした活動を続けてまいります。

公益財団法人日本ライフセービング協会
理事長 入谷 拓哉

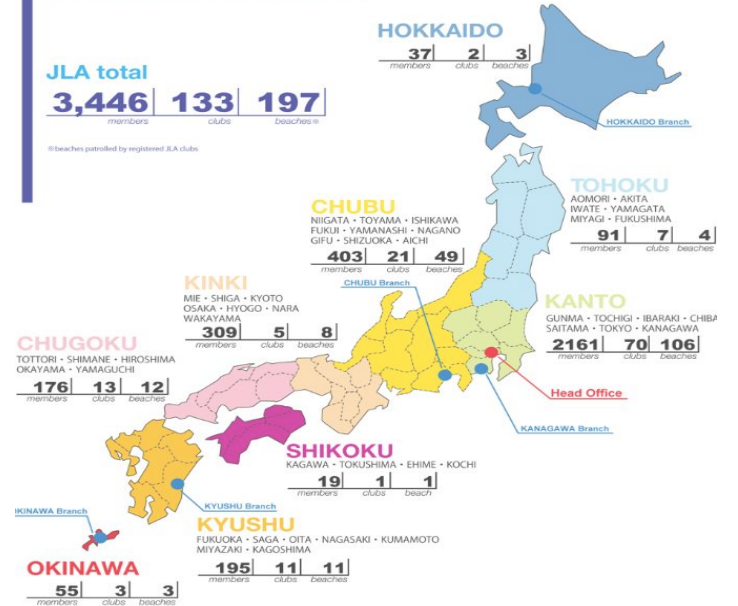
このコンテンツの広がり



関連団体との連携。水辺の安全に関するファンデーションプログラムとしての運用を目指す。

MEMBERS & CLUBS

JLA total
3,446 members | 133 clubs | 197 beaches



JLA重点海水浴場におけるジュニアライフセービング教育への導入。JLAが指導を担う授業や臨海学校、サポーター講習としての運用。



Gakken副読本、教員用指導書へ、このコンテンツのQRコードを添付することを打診中。小、中学校20校をモデル校としてスタート。

「2019年度 完成に向けたプロセス①」

日にち	会議、打ち合わせの対象	場 所	内 容
2019. 4. 11	株式会社学研プラス	JLA事務局	コンテンツ骨子策定
2019. 4. 20	JLA理事会	JLA事務局	コンテンツ骨子共有
2019. 5. 14	株式会社学研プラス	学研本社	コンテンツプラン決定
2019. 5. 15	ICTワーキンググループ	成城学園	コンテンツプランと課題共有
2019. 5. 27	公益財団法人日本財団	日本財団	具体的なコンテンツ内容とプランについて
2019. 6. 19	株式会社学研プラス	成城学園	デザインと撮影に向けた打ち合わせ
2019. 6. 25	JLA常務理事会	JLA事務局	進捗の共有と意見収集
2019. 7. 12	JLA教育本部会議	成城学園	進捗の共有と意見収集
2019. 7. 27	JLA理事会	JLA事務局	進捗の報告
2019. 8. 2	公益財団法人日本財団	日本財団	進捗の報告
2019. 8. 7	ICTワーキンググループ	成城学園	撮影に向けた準備とリハーサル
2019. 8. 15	株式会社学研プラス	千葉県南房総市原岡海岸	撮影に向けた現地下見
2019. 8. 19~21	株式会社学研プラス	千葉県南房総市原岡海岸	動画準備、撮影
2019. 9. 3	株式会社学研プラス	成城学園	下半期プランの再確認、テクニック動画撮影に向けて
2019. 9. 26	株式会社学研プラス	成城学園 外プール	プールでのテクニック動画撮影
2019. 9. 28	JLA理事会	JLA事務局	進捗の報告

«2019年度 完成に向けたプロセス②»

日にち	会議、打ち合わせの対象	場 所	内 容
2019. 9. 28	JLA理事会	JLA事務局	進捗の報告
2019. 10. 7	株式会社学研プラス	成城学園	撮影動画の確認と学びのポイント整理
2019. 10. 10	公益財団法人日本財団	日本財団	進捗の報告
2019. 10. 17	株式会社学研プラス	成城学園	コンテンツ構成、デザインの確認
2019. 10. 29	JLA常務理事会	JLA事務局	進捗の共有と意見収集
2019. 11. 15	株式会社学研プラス	成城学園	コンテンツ構成、デザインの確認、校正
2019. 11. 26	JLA常務理事会	JLA事務局	進捗の共有と意見収集
2019. 12. 2	海のそなえPJ	JLA事務局	e-Lifesavingの紹介、今後の繋がり模索
2019. 12. 5	PLG委員会、WS委員会	都立駒場学園	テクニック動画の確認と再撮影
2019. 12. 19	株式会社学研プラス、JLA広報室	成城学園	JLAHP内における設置コンセンサス
2020. 1. 10	消費者庁 サービス部会	消費者庁	水遊び、プール活動における取り組みプレゼン
2020. 1. 16	一般財団法人吉川慎之介基金	中央大学	e-Lifesavingの紹介、今後の繋がり模索
2020. 1. 18	JLA理事会	JLA事務局	
2020. 1. 21	株式会社ポピンズ	ポピンズ本社	e-Lifesavingの紹介、今後の繋がり模索
2020. 1. 29	株式会社学研プラス	成城学園	テクニック動画の最終確認と文章校正

「2019年度 完成に向けたプロセス③」

日にち	会議、打ち合わせの対象	場 所	内 容
2020. 2. 2~3	西条市教育委員会 子どもたちにライジャケを	愛知県、高知県	e-Lifesavingの紹介、今後の繋がり模索
2020. 2. 10	JLA教育本部	成城学園	e-Lifesavingの完成イメージ共有
2020. 2. 13	スポーツ庁 長官	スポーツ庁	e-Lifesavingの紹介、今後の繋がり模索
2020. 2. 17	鎌倉市教育委員会 主事	鎌倉市教育委員会	e-Lifesavingの紹介、今後の繋がり模索
2020. 2. 27	横浜市教育委員会	横浜市教育委員会	コロナ対応のため中止
2020. 3. 5	ICTワーキンググループ	Zoom会議	コンテンツの最終チェック

以降、2020.3.31 完成納品に向けた最終確認はテレワークにより実施した。

- 2020.3.31 文部科学省、スポーツ庁へ完成報告と告知に関する相談
- 2020.4.1 JLA内 理事、監事に完成報告、指導員へ先行告知と共有
- 日本財団、宗近様、高階様へ完成の報告と御礼
- 2020.4.2 各ご協力いただいた関連団体に完成の報告と御礼
- 2020.4.7 テスト運用中に生じた軽微な修正作業
- 2020.4.9 JLAHP サイトオープン <https://elearning.jla-lifesaving.or.jp/>
- 2020.4.10 海と日本PROJECT ※HP掲載 <https://uminohi.jp/news/jla-lifesaving/>
- 2020.4.13 プレスリリース【PR TIMES】
・朝日新聞デジタル／ニコニコニュース／exciteニュース／BIGLOBE



※海と日本PROJECT HPより

【スポーツ庁 鈴木大地長官と水辺の安全教育に関する意見交換】

令和2年2月13日にスポーツ庁を訪問し、鈴木大地長官との面会をしました。

日本ライフセービング協会は、子どもたちが水辺の事故防止の心構えや、安全のための知識と技能を身に付け、楽しく活動できることを願い、視聴覚教材を制作しています。

この教材は、小学校・中学校の新学習指導要領に沿い「水泳運動の心得」や「安全確保につながる運動」、「水辺の事故防止に関する心得」などへの実践的理解につながるような構成となっています。

この教材を学校教育において使用してもらうために、入谷理事長と教育担当の松本副理事長からご説明を致しました。

鈴木長官からは視覚的に学びを得られる教材として高い評価をいただき、教育現場で活用できるようなアドバイスもいただきました。

プール活動や体験活動の事前指導、総合的な学習の時間など、水辺の安全教育に幅広くご活用いただくために、今後も連携を深めてまいります。（※JLA facebook より）

